

# EXPO'70基金 2022年度助成金及び奨学金贈呈式

2022年7月27日／大阪工業大学梅田キャンパス常翔ホール

## 国内外42団体に総額8,000万円を助成

関西・大阪21世紀協会は、2022年度の万博記念基金助成事業として、国内外から申請された157件の中から42件を採択し、総額8,000万円の助成を決定しました。このうち「複数年度助成事業」には、審査の結果、KHM博物館連盟ウィーン世界博物館（オーストリア）の「1873年ウィーン万国博覧会150周年記念事業：日本とヨーロッパをつなぐ」を採択。日本の伝統文化を研究する外国人留学生（大学院修士課程）を対象とした奨学金給付事業については、東京藝術大学、京都市立芸術大学、大阪大学、早稲田大学から推薦された5名に奨学金が給付されました。

7月27日に贈呈式が行われ、出席していただいた国内20団体の中から、代表として3団体と4名の留学生に崎元利樹理事長から目録が手渡されました。崎元理事長は冒頭の挨拶で、「協会は今後も国際交流活動を支援することに加え、関西・大阪だけでなく日本の文化振興に取り組ん

でいきたい。皆さんにおいては、コロナ禍で活動が難しい中、助成を有効にご活用いただき、有意義な成果を出されるようお願いしています」と述べました。

贈呈式の後、2021年度の奨学生・解桐さん（中国）の研究報告と助成2団体の事例発表、2023年度の募集説明会が行われました。



### 2022年度の申請と採択の内訳

	申請		採択	
国内外合計	157件	4億4,922万円	42件	8,000万円
国外事業者(内数)	(34件)	(1億2,867万円)	(7件)	(1,660万円)

### ▶2021年度 奨学生の研究成果報告

#### 解桐さん（東京藝術大学大学院 音楽文化学専攻 修士2年）

「日本の尺八製管の伝承」をテーマに、玉井竹仙が開いた日本史上最大の尺八工房「竹仙工房」（1950～1985年頃・大阪府豊中市）と、その弟子の星梵竹が開いた「星梵竹尺八工房」（1981年～・兵庫県丹波篠山市）、独学で製管を学んだ田畑睦郎が開いた田畑尺八工房（1992年～・埼玉県草加市）を研究対象として、尺八の製作方法の変遷や後継者の育成方法などを明らかにする研究を行いました。また、独自の技法で尺八を製作し、尺八教室も開いている田畑尺八工房については、製管方法や後継者の育成など、他の工房との共通点や相違点も探りました。



### ▶2021年度 助成団体の事例発表

#### 一般社団法人 HLAB（エイチラボ） 学生スタッフ財務責任者 堀田 岳さん（国際基督教大学2年）

HLABは、「WHERE DIVERSITY MEETS LEARNING」（多様性と学びが出会う場所）を理念に、高校生対象のサマースクールを実施しています。ここでは「Peer Mentorship」（仲間との対話）を重視し、高校生たちが専門家や先生からではなく、お互いから学びや刺激を得たり、運営側の大学生や社会人とも寝食を共にしたりする中で、将来やりたいことを主体的に選択できる一助になればと思っています。現在、サマースクールは東京都や宮城県など全国4か所で240名の高校生に提供し、企業や自治体の協賛や後援、EXPO'70基金のような助成団体からの支援を得て運営しています。



#### 一般社団法人 関西伝統芸能女流振興会 代表理事

#### 向平美希（常磐津美佐希）さん

関西伝統芸能女流振興会は、日本の伝統芸能の継承と振興および伝統芸能界における女性の活躍と技芸の向上を目的に活動しています。主に舞台公演を通じて女性の活躍を支援するとともに、ワークショップを企画するなど幅広い世代へ伝統芸能の魅力を紹介しています。2021年度はEXPO'70基金の助成を得て、外国人留学生や外国語を学ぶ学生に向けた鑑賞体験事業を実施しました。関西圏の高校や大学など10校で、三味線、箏、日本舞踊などの体験授業を行うとともに、リモート配信も活用。学生だけでなく先生方にもご好評をいただきました。



# 日本万国博覧会記念基金事業

**世** 界各国で助成が活かされています。

過去50年間に日本万国博覧会記念基金の助成を活用して建設された海外の施設についてご紹介します。

## < 第3回 >

しょうふうそう

## 松風荘(アメリカ合衆国 フィラデルフィア)



松風荘は、アメリカ合衆国ペンシルベニア州フィラデルフィアのフェアマウント公園にある日本家屋および日本庭園です。建物は日本からの寄贈で、1954年にニューヨーク近代美術館（MoMA）に2年間展示され、その後にフィラデルフィアのフェアマウント公園内の日本庭園に移設されました。1958年の一般公開以降、日本古来の建築物や庭園を体験する場として、四季折々の催しを実施し来園者を楽しませています。現在、松風荘を管理しているフィラデルフィア日米協会のジュリア・チョフィーニ（Giulia Ciofini）さんに、松風荘についてご紹介いただきました。

万博記念基金では、過去に松風荘の改築や催しの実施に際して助成をしてきました。

▼助成年度	▼助成事業名	▼助成事業者	▼金額
1994年度	書院造り日本家屋「松風荘」の改築	松風荘友の会	135万円
1999年度	松風荘檜皮葺および柿葺の屋根を全面葺替する工事	松風荘友の会	2,000万円
2020年度	ジャパン・フィリー2020：一年間、無数のつながり	フィラデルフィア日米協会	240万円



JAPAN AMERICA SOCIETY  
OF GREATER PHILADELPHIA  
フィラデルフィア日米協会

日本の家屋と庭園である松風荘は、第二次世界大戦後の両国間の新たな関係を育むため、日本からアメリカ



合衆国へ贈られることとなり、ニューヨーク近代美術館（MoMA）に建築を委託し、MoMAの中庭に展示されました。

MoMAは日本国内で日本建築の調査を実施し、書院造建築、特に17世紀初頭の書院造様式の初期の例である滋賀県大津市の三井寺（園城寺）光浄院を参考にして、日本人建築家の吉村順三氏の設計により松風荘を建築しました。

松風荘は1954年6月20日から2年間にわたって一般公開され、約25万人の来場者を動員し、MoMAのその時期で最も人気のある展示会となりました。閉会后、1958年に松風荘はフィラデルフィアのフェアマウント公園に移設され一般公開されました。

その後、1960年代から70年代にかけて、松風荘は管理が行き届かず、庭園が荒廃した状態に陥りましたが、1982年に史跡を保護するためにボランティアと松風荘の管理人が松風荘友の会を結成し、維持管理をしてきました。2016年以降は、フィラデルフィアと日本との芸術、ビジネス、文化交流を促進する非営利団体であるフィラデルフィア日米協会によって管理されています。

現在の松風荘は、フィラデルフィアで日本古来の建築物を一般の人々に体験してもらう施設として、毎年4万人以上の



来園者にサービスを提供しています。春は桜まつりやこどもの日、夏は七夕やお盆、秋は生け花展、お月見、冬は七五三、お正月といった四季折々のイベントのほかにも、お茶の体験、



桜まつり

太鼓のワークショップ、グループツアー、放課後プログラムなど、子ども、家族、大人などさまざまな年代を対象に、日本の伝統や文化を体験するイベントを開催しています。



お盆



茶道体験



放課後プログラム



絵画教室

写真提供：JAPAN AMERICA SOCIETY OF GREATER PHILADELPHIA

# 2022年度奨学金給付事業

— 日本と外国の架け橋となる人材育成を目指す —

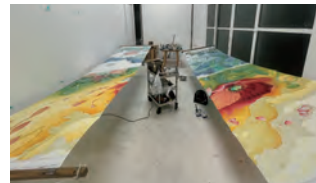
本事業は、日本の伝統文化を研究する外国人留学生(大学院修士課程)を対象に、2021年度からスタートしました。奨学生には、年に2回程度研修の場を設け、日本の伝統文化を学ぶ機会を提供します。また、奨学生同士や当協会との交流を深め、将来、日本と外国の架け橋となる人材の育成に努めています。

## 2022年度の奨学生



カン チェンウェン

**關 正玫さん**(台湾) 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 染織分野  
私は、友禅染や臙纈(ろうけつ)染などさまざまな染め技法の研究をしています。ご支援をいただいたことに恥じぬよう、日本と台湾の染め文化を進展させていけるよう頑張ります。



ジャ イツパン

**徐 逸文さん**(中国) 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 絵画専攻 構想設計  
ご支援のおかげで、映画と精神分析の研究活動に全力を注ぐことができています。また、博報堂プロダクツへの就職も決まり、今後は社会人として、創造力を生かして世界を驚かせる作品で日本の広告制作を支えたいと思っています。



リウ ジョウミン

**劉 常民さん**(中国) 東京藝術大学大学院 美術研究科 文化財保存学専攻(保存彫刻)  
私は、将来は中国宋代木彫仏像の研究に貢献するため、鎌倉時代後期の東国仏師による宋風の受容性について考察を進めています。奨学金によるご支援がなければ、修了模刻と古美術調査研究が続けられないところでした。心より感謝申し上げます。



チャウ シモウ

**張 子萌さん**(中国)  
大阪大学大学院 人文学研究科 芸術学専攻  
奨学生に選考され感謝しています。研究テーマである日本のアニメ映画『君の名は。』のロケ地を訪れるなど、研究に打ち込める環境を得ることができます。



ヒョウ チェンチェン

**馮 辰鍼さん**(中国)  
早稲田大学大学院 文学研究科 人文科学専攻 日本語・日本文学  
この度は奨学生にご採択いただき、ありがとうございます。文学と絵画の和漢交流を研究しています。今後も多分野、多言語の日本伝統文化研究に精進し、国際社会へ発信していきます。

## 助成先の事業紹介

2021年度の助成事業の中から、事業者から寄せられた報告をご紹介します。

### アート・インクルージョン 多様性の世界の祭典

事業者：アートはみんなのもの  
交付確定額：1,013,000円  
実施期間：2022年2月26日～27日  
実施場所：リモート開催(兵庫県尼崎市・Casa de Ume)

芸術という立場からすると、障がいのあるなし、民族や国家の違いはありません。活動は人が生きている限り止まりません。コロナ禍によりリモート開催でしたが、2日間にわたり18か国・約140人が参加してシンポジウムを行いました。16の国や地域の事例発表やワークショップには、アジア各国に加え、時差で現地は早朝や真夜中のヨーロッパや北米、南米からの参加もあり地域を超えた関心の高さを実感しました。

大阪発祥の世界を代表するインクルージョンアート「さをり織り」の事例には、コロナ禍の精神的な困難を乗り越えるために活用したものもありました。

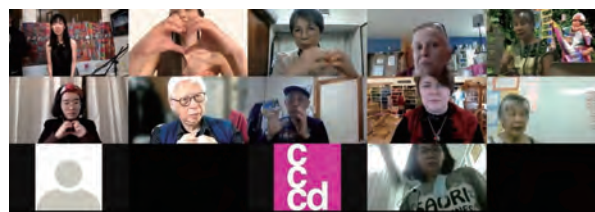
イベントの最後には大阪弁の手話を様々な国の参加者に学んでもらい、「ともだち」(中筋博治作詞作曲)をともに歌いました。

万博基金は資金協力だけでなく、1970年の万博の理念

をあらためて読み直すことで、わたくしどもの活動の原点を見つめなおし、各国の仲間の共感を呼び覚ましてくれたと実感しています。



さをりファッションショー



大阪弁手話による合唱

## 沖縄返還50周年記念事業 『沖縄古典舞踊と音楽』米国5都市ツアー

事業者：Japan Society, Inc.  
 交付確定額：2,000,000円  
 実施期間：2022年3月14日～31日  
 実施場所：ニューヨーク市 ジャパン・ソサエティー、  
 ワシントンDC ケネディセンターほか

米国からの沖縄返還50周年を記念し「古典舞踊」や「雑踊」などからなる『琉球舞踊』と、琉球の民話などを題材に、舞踊と音楽により構成される『組踊』、琉球古典芸能の伝統を受けつつ近代創作された『喜歌劇』などの公演を、国立劇場おきなわ芸術監督(当時)の嘉数道彦氏の監修・構成のもと、ニューヨークやシカゴを含む米国5都市にて開催しました。また、ワークショップやレクチャーデモなどの教育プログラムも各都市で実施、観客や参加者など約1,800名を動員しました。

米国では「基地の街」として知られる沖縄ですが、琉球王朝に起源を持つオリジナルで色彩豊かな魅力に溢れる南西諸島文化と歴史があり、このツアーで日本の風土や民族の多様性を多角的に紹介することができました。

国際交流の促進や、海外における日本の文化・芸術の振興には、長期的な展望と活動の継続が重要です。特に海外に所在する文化芸術団体にとって、日本から直接支援を受けることができる日本万国博覧会記念基金の存在は、その

規模や継続性の観点だけでなく、なくてはならない存在となっています。



沖縄舞踊公演(©Maria Baranova)



沖縄舞踊ワークショップ(©Japan Society)

## 創作オペラ 「ザ・ラストクイーン 朝鮮王朝最後の皇太子妃」新・演出版

事業者：オペラ「ザ・ラストクイーン」実行委員会  
 交付確定額：2,000,000円  
 実施期間：2022年3月23日  
 実施場所：東京都 日本橋劇場

創作オペラ「ザ・ラストクイーン 朝鮮王朝最後の皇太子妃」新・演出版は、日本から朝鮮王朝最後の皇太子の元へ嫁いだ李方子(りまさこ=梨本宮方子1901~1989)妃の半生を史実に基づいて描いた作品です。初演以来ロングランを続けていますが、コロナ禍や緊迫する世界情勢など陰しい状況下での再演となりました。コロナ対策で延期の末、3月23日の公演を実現。Withコロナにもかかわらず、640名の入場者で満席の盛況となりました。

助成金を受けたことによりコロナ感染対策を強化し、危ぶまれた事業実施を3か月延期した開催実現で乗り越えることができました。

当日は著名人や専門家も数多く訪れ、心配された観客動員も満員御礼となり、新しい生活様式の中の芸術文化のあり方、生の舞台ならではの醍醐味を実証する貴重な成果を生み出しました。

日本と韓国の狭間で翻弄されながらも、両国の「和」を求め一生を捧げた方子の生き様に新たな光をあて、混迷する現代を生きる人々に向けて、平和の尊さを伝える事ができました。



写真提供・田月仙(チョン・ウォルソン) / 撮影・菊地健志(2点とも)